

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	レクリエーション概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年生		学期及び曜時限	前期 火 7	教室名	802
担 当 教 員	樋口 舞	実務経験とその関連資格	作業療法士として十条武田病院に勤務。(身体障害領域・小児デイサービス)レクリエーションや遊びを通したリハビリテーションに従事。			
《授業科目における学習内容》						
この授業では、治療としてのレクリエーションを理解し、対象者の方に実践するための計画立案の仕方や実践技法について実践的に学んでいきます。講義を踏まえて実践的に学び、レクリエーションの効果を体感しながら学習します。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験50%、レポート50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:寺山久美子(監修):レクリエーション 改訂第2版 社会参加を促す治療的レクリエーション株式会社 三輪書店, 2009						
《授業外における学習方法》						
事前の予習としては下記に提示している教科書の範囲を読む。 また習ったことについてはクラスメイトと振り返り理解を深める。						
《履修に当たっての留意点》						
レクリエーションの持つ効果を自らの体験をもって実感する・楽しみながらも真面目に参加する姿勢を忘れない・レクリエーションもチームでのアプローチの一つであり、グループ内での協調性・積極性を身につけて活かすことを意識して取り組んで下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般的なレクリエーションと治療的レクリエーションの違いが説明できる	教科書	(予習)教科書P2～19までを確認	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション・治療的レクリエーションの概念			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	5W1Hについて説明することができる	教科書	(復習)5W1Hの用語、(予習)P26～34を確認	
		各コマにおける授業予定	治療的レクリエーションを行う際の注意点・ポイント			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	模倣、実践し、クラスメイトと内容の振り返りが行える。	教科書	(復習)5W1Hの考え方	
		各コマにおける授業予定	気軽にできるレクリエーション①:円陣肩叩き 授業終了後レポート提出有			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	模倣、実践し、クラスメイトと5W1Hに基づき、レクリエーションを分析することができる。	教科書	(復習)5W1Hの考え方	
		各コマにおける授業予定	気軽にできるレクリエーション②:歌体操 授業終了後レポート提出有			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	模倣、実践し、クラスメイトと5W1Hに基づき、レクリエーションを分析することができる。	教科書	(復習)5W1Hの考え方	
		各コマにおける授業予定	気軽にできるレクリエーション③:新聞語想起ゲーム 授業終了後レポート提出有			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	模倣、実践し、クラスメイトと5W1Hに基づき、レクリエーションを分析することができる。	教科書	(復習)5W1Hの考え方
		各コマにおける授業予定	手作りを楽しもう！レクリエーション:棒体操 授業終了後レポート提出有		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対象疾患の特徴を踏まえて5W1Hに基づき、プログラムを分析できる	教科書	(復習)5W1Hの考え方
		各コマにおける授業予定	ちょっと頭を使おう！レクリエーション:週間指体操 授業終了後レポート提出有		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対象疾患の特徴を踏まえて5W1Hに基づき、プログラムを分析できる	教科書	(復習)5W1Hの考え方
		各コマにおける授業予定	疾患に合わせたレクリエーション①:風船バレー 授業終了後レポート提出有		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対象疾患の特徴を踏まえて5W1Hに基づき、プログラムを分析できる	教科書	(復習)5W1Hの考え方
		各コマにおける授業予定	疾患に合わせたレクリエーション②:介護予防レクリエーション		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対象疾患の特徴に合わせてプログラムを設定できる	教科書	(復習)5W1Hの考え方
		各コマにおける授業予定	レクリエーションの実行のために～対象疾患は？目的は？～		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対象疾患の特徴に合わせてプログラムを設定できる	教科書	グループごとに対象疾患の特性を把握しておく
		各コマにおける授業予定	グループワーク:レクリエーション計画・準備①		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対象疾患の特徴に合わせてプログラムを設定できる	教科書	レクリエーションの進行や備品の確認
		各コマにおける授業予定	グループワーク:レクリエーション計画・準備② レポート提出有り(委員長とりまとめ)		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対象疾患の特徴に合わせてプログラムを設定できる	教科書	予習:発表までに役割分担に応じた進行のイメージをしておくこと
		各コマにおける授業予定	レクリエーション発表:A～Cグループ		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	社会参加を考慮したレクリエーション立案ができる	教科書	予習:発表までに役割分担に応じた進行のイメージをしておくこと
		各コマにおける授業予定	レクリエーション発表:D～Fグループ		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	社会参加を考慮したレクリエーション立案ができる	教科書	予習:発表までに役割分担に応じた進行のイメージをしておくこと
		各コマにおける授業予定	レクリエーション発表:G・Hグループ + まとめ講義		